

絵巻物から読み解く林業技術（後世に伝えたいもの）

～明治伐木運材図絵～



「温故知新」どんな時代であっても、新しく道を切り開いていくにあたって、先人たちの積み上げてきた山の文化（知識、技術、精神）といったものを継承していくことは必要なことではないだろうか？

振り返って今の時代、石油燃料に頼る以上にそういったものを活かしきっているだろうか？

今回のイベントを通し、林業を取り巻く、今ある当たり前の風景を含め自らに問いかける機会にしていただければ幸いです。

（注：絵巻物を読み解きながら作業の説明をし、進めていく予定です。）

実施日：平成27年9月12日（土）

場 所：群馬県庁昭和庁舎（旧県庁）

3階35会議室

時 間：13：30～16：30

（13：00より受付開始）

参加費：無料

講 師：市川 平治 烏川流域森林組合長

羽鳥 孝明 東京の林業家と語る会 等

募集人員：60名程度（定員に満たない場合は当日受付します）

申し込み：電話・FAX・メールにて参加者の氏名、連絡先、（所属）をお伝えください。

当日は、群馬県庁県民駐車場をご利用下さい。（実費）



申し込み・問い合わせ先
群馬県林研グループ連絡協議会事務局 海老原
TEL 027-226-3235
FAX 027-223-0154
Eメール ebihara-k@pref.gunma.lg.jp

主催 群馬県林研グループ連絡協議会